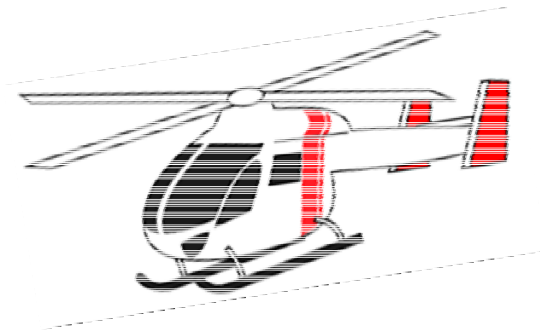
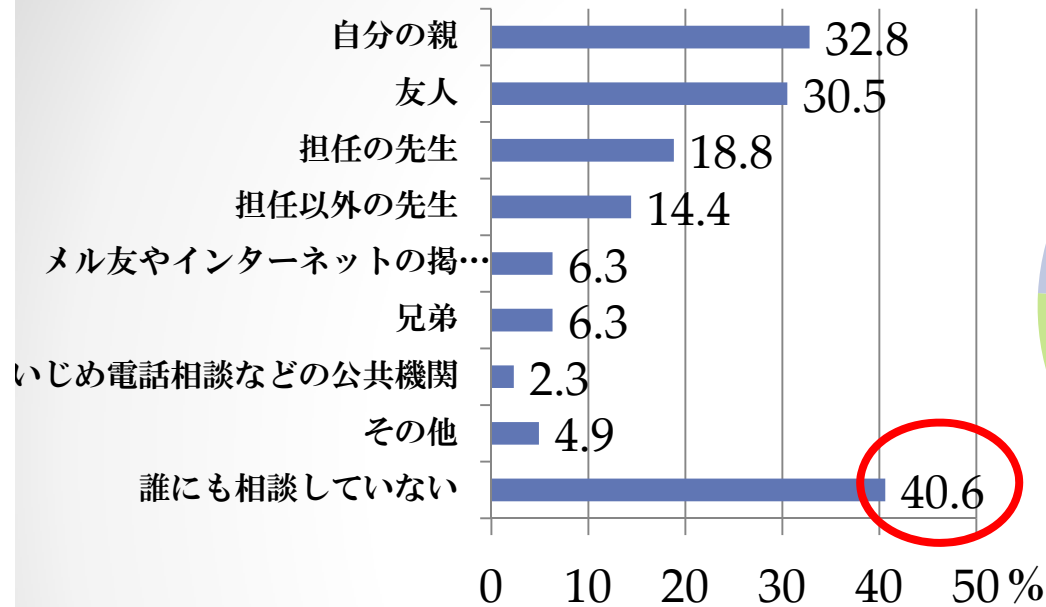


いじめ対策支援  
「ヘリコプタープロジェクト」  
～繋がりで子どもを守る～



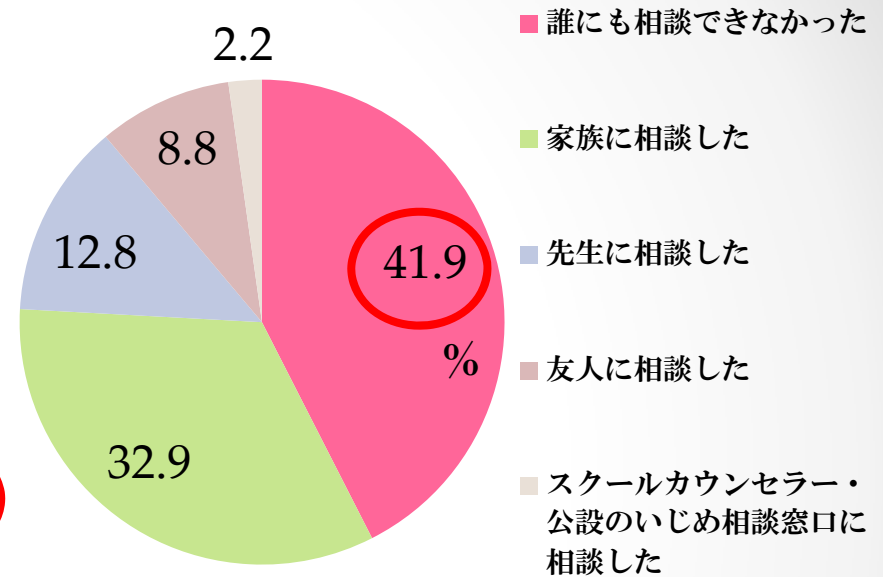
## いじめ相談の実態

### いじめられた時の相談相手



サーベイリサーチセンター 2006年12月

### 誰かに相談しましたか



ニコ割アンケート 2012年8月

いじめを受けても半数近くの  
子どもは誰にも相談できません

## 静岡市の行政・民間の取り組み

学校

スクールカウンセラー 養護教諭  
教育相談員 生徒指導 他

行政

子ども青少年相談センター  
〔こころのホットライン、24時間いじめ相談窓口〕  
〔適応指導教室（ふれあい教室、はばたく教室）〕  
いじめ・暴力対策メール  
静岡県警察少年サポートセンター  
スクールソーシャルワーカー 他

民間（NPO等）

サンフォレスト かげんどら CAP  
コミュニティースペースふらっと 元気学園  
コスモスクール未来 他

**学校、行政、民間。  
相談窓口は多数存在する。**

## 広報



情報カード（裏表）  
こころのホットライン  
24時間いじめ電話相談



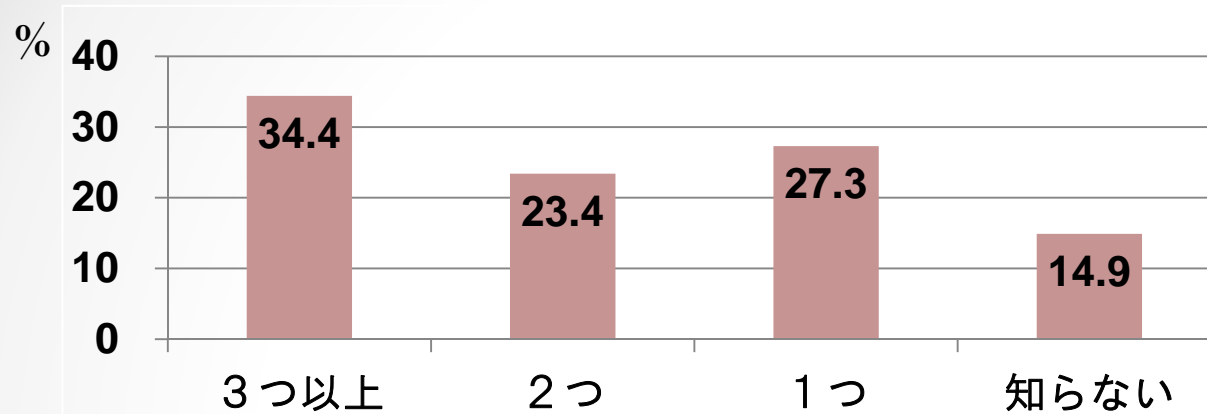
静岡県  
若者支援機関マップ

# 相談窓口認知度アンケート

プロジェクトアンケート 2012年12月

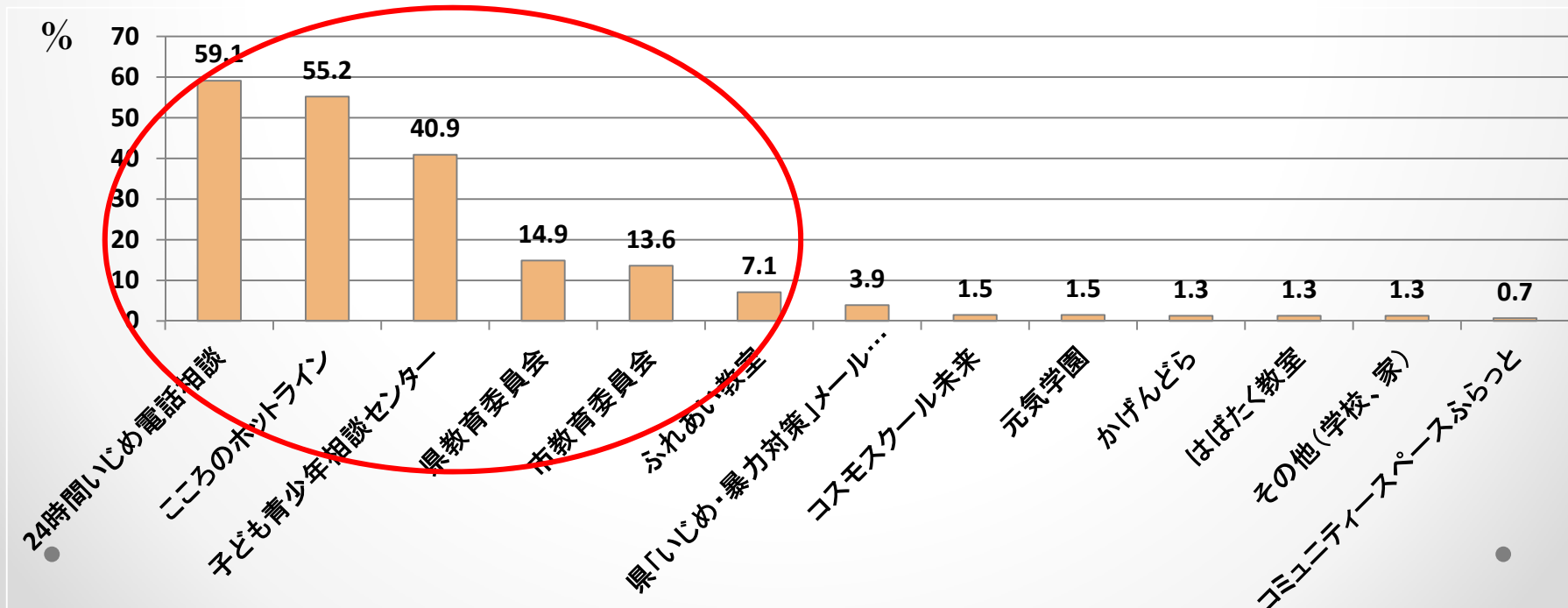
①利用可能な機関をいくつ知っていますか？

市内中学校2校を対象とし、各校1学年から3学年の1クラスずつ実施。母数は154人



行政の取り組み以外ほとんど認知されていない。

②どの機関を知っていますか？



100人で例えると

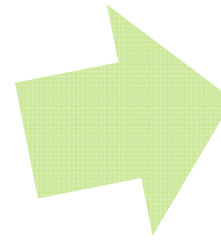
100人



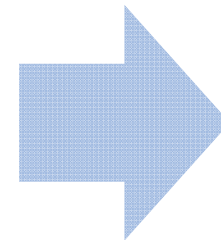
約58人  
2つ以上知っている

約27人  
1つ知っている

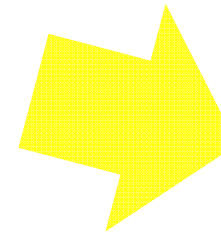
約15人  
1つも知らない



約56人  
家族、先生、友人に  
相談できた



約2人  
スクールカウンセラー  
公設の相談窓口  
に相談できた

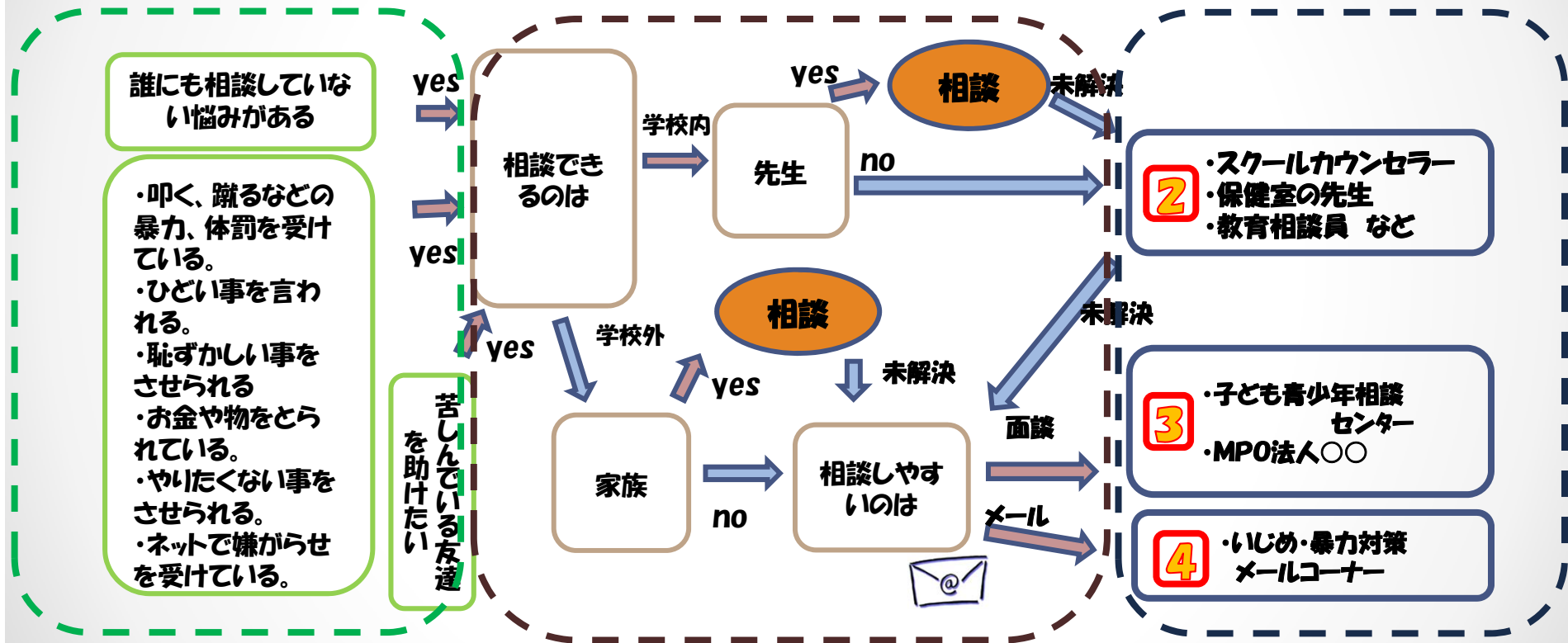


約42人  
誰にも相談できない

# 提案 子ども、親が「知る」

## 相談窓口フローチャートの作成と配布

イメージ (案)



今の状態や  
なりたい自分

選択

相談窓口

## 1月9日 関係機関による意見交換会実施

場所 アイセル21 時間 18～20時 参加者17名（プロジェクトメンバー含む）  
静岡市教育委員、青少年子どもセンター職員、NPO代表、保護者  
スクールソーシャルワーカー、弁護士（子ども権利委員） 他

### 意見

- ・細かいのも難しい、そこにしか行けないと思ってしまう
- ・子どもの選択を肩代わりする事になる。再選択難しい
- ・可能なら場面（場所）を変える事もOKとする（転居、転校）
- ・いじめる、いじめられるという言葉を使用しない。  
ハードルを下げる「取っつきやすさ」
- ・相談できる人を紹介するフローチャートはどうか？
- ・こうすれば未来が開かれると思わせるような物が良い 等

1月25日 青少年子どもセンター 指導主事 相談実施  
2月 1日 静岡市教育委員会 指導主事 相談実施

### 意見

- ・匿名で相談できる事に意義がある。
- ・カミングアウトするにはエネルギーが必要。
- ・まずは身近な家族や学校で相談できるようにする事が大切
- ・フローチャートを学校で配布するには教育委員会で作成した  
マニュアルに沿った形では無いと難しい 等

## 意見交換会等でアドバイスのあった作成のポイント

再選択

学校外の居場所  
の提示

いじめという言葉  
を使わない

開かれた未来

匿名性

マニュアルとの  
整合性

### プロジェクトとして

全ての子どもに対応できるフローチャートは難しいが、相談場所を全く知らない子に対しては、一応の効果があると考えられる。意見交換会等のアドバイスをもとに、フローチャートを複数案作成し実際、子ども達に試行し完成させる。

### スケジュール

2月中旬～3月初め	チャート複数案プレテスト（中学生に実施）
3月中旬	関係機関意見交換会実施
4月	配布（6ヶ月後 効果の測定）